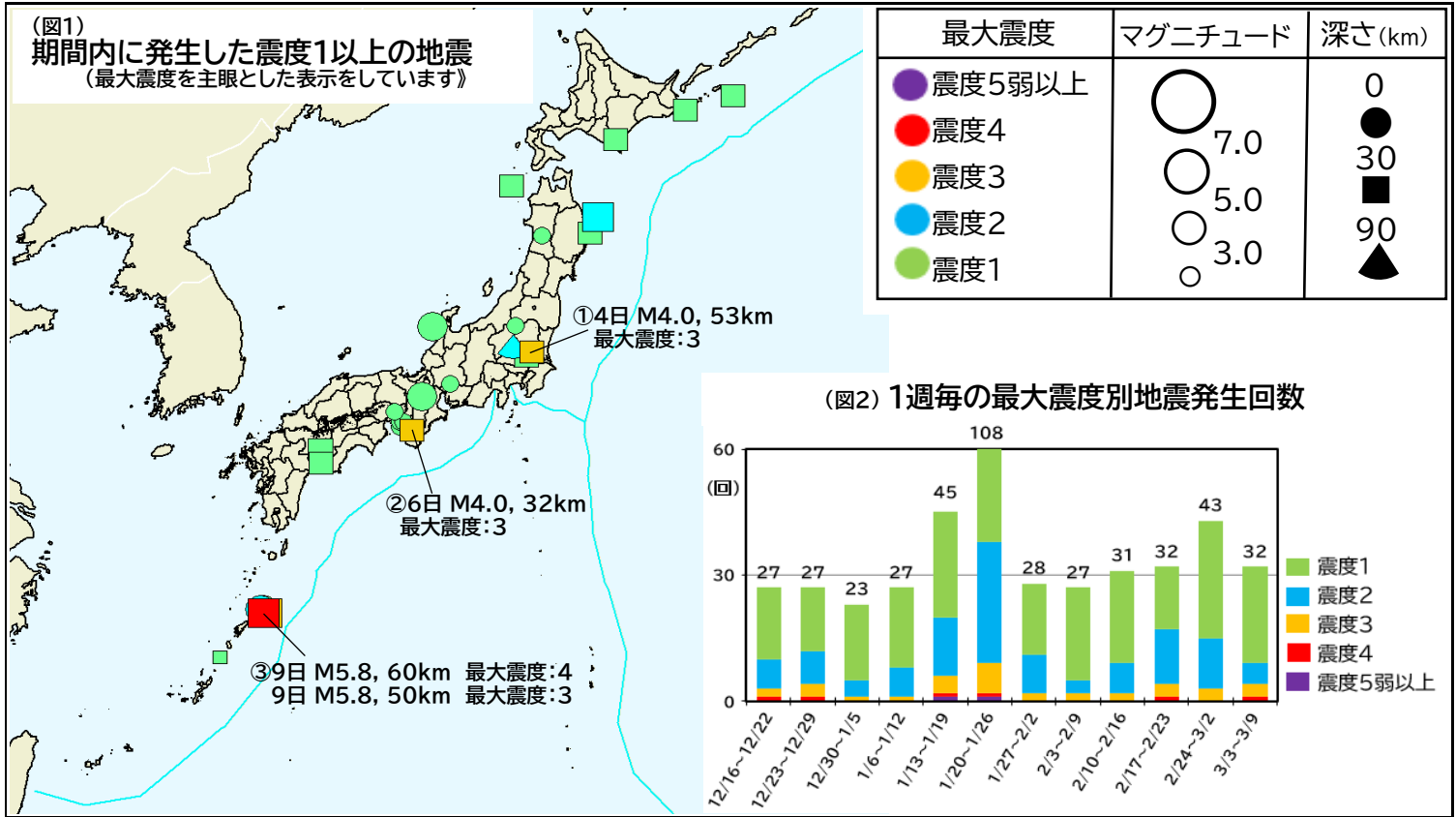


この期間の最大震度は4 奄美大島近海で一時的に多発

本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典:気象庁震度データベース/地震情報)



主な地震の発生状況 (図1,図2参照)

- この期間、震度1以上の地震が32回発生。最大震度は4。奄美大島近海で一時的に多発
- ①3月4日15時12分に茨城県南部で発生した地震(M4.0、深さ53km)により、茨城県、栃木県、千葉県で震度3を観測したほか、福島県から関東地方にかけて震度2~1を観測。
- ②3月6日12時58分に和歌山県南部で発生した地震(M4.0、深さ32km)により、奈良県十津川村で震度3を観測したほか、三重県から兵庫県にかけて震度2~1を観測。
- ③3月9日03時54分に奄美大島近海で発生した地震(M5.8、深さ60km:速報値)により、鹿児島県奄美市・喜界町で震度4を観測したほか、種子島・屋久島地方から奄美地方の広い範囲で震度3~1を観測。同日08時43分にも奄美市と十島村で震度3を観測するなど、この付近で9日15時までには震度1以上の地震を10回観測。それ以降10日12時までには発生していない。

トピックス

東北地方太平洋沖地震から14年

- 東北地方太平洋沖地震から明日で14年となります。最近の地震活動をみてみました。
- 図3はこれまでに発生した地震の震央分布図です。赤丸はここ1年間に発生した地震で、陸地寄りの活動が主になっているようです。
- 図3の青破線内で発生したM3.0以上の地震は、本震発生後の1年間では約2万5千回発生していましたが、時間経過と共に活動は低下し、この1年間では約千回と25分の1程度に減少するなど増減を繰り返しながら少なくなっています(図4)。また、震度1以上を観測した地震も25分の1程度にまで減少しています。
- しかし、東北地方太平洋沖地震発生前に比べると、やや多い状況が続いています。
- 最近で記憶に新しい地震としては、福島県沖で2021(R3)年2月13日に発生したM7.3、翌年の2022(R4)年3月16日のM7.4があり、共に福島県相馬市などで震度6強を観測しました。
- 東北地方の太平洋沖や沿岸部は、定常的に地震活動が活発な場所ですので、14年となるこの機会に、個人でできる防災対策として、家具固定や避難場所と避難経路の再確認などについて家庭内で話し合ってみては如何でしょうか。

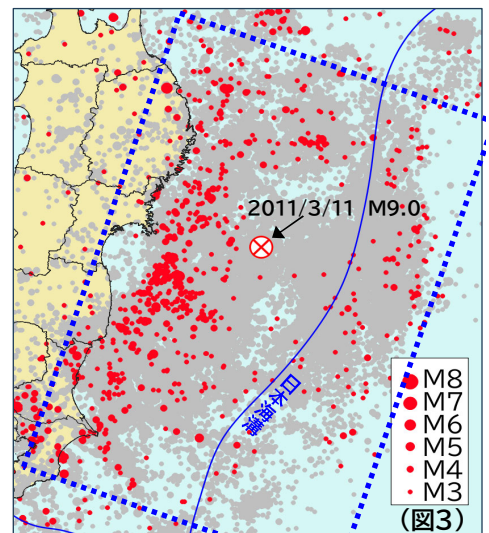
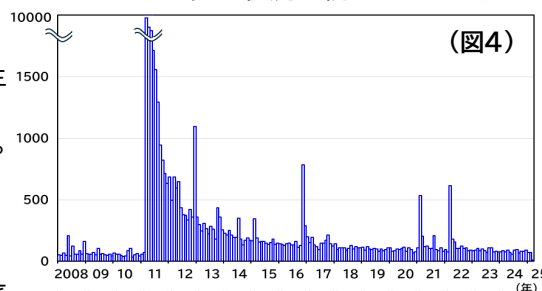


図3: 震央分布図 (M≥3.0)
●:2024/3/11 --- 2025/3/8
●:2011/1/1 --- 2024/3/10